

# 平成28年度大分県教育奨励賞受賞者一覧

No.	市町村	氏名(団体名)	主な活動内容	活動詳細	推薦者
1	中津市	中津北高等学校ボランティア部	ボランティア活動	毎週月曜日放課後、校内外清掃活動の他、アースデイの補助員、中津支援学校運動会運営補助、中津社会福祉協議会依頼の夏休み、冬休みボランティア等に幅広く参加している。 ・熊本地震募金活動(H28. 4～5) ・アースデイ中津の活動参加(H27～現在まで) ・中津支援学校ボランティア(H26～毎年5月と11月) ・世界エイズデー街頭キャンペーン(H27. 12. 1) ・大分県共同募金会赤い羽根共同募金活動(毎年参加)	大分県立 中津北高等学校長
2	中津市	中津ふれあい市民の会	ホタル飼育活動支援	16年間にわたり、三保小学校児童のホタル飼育活動に対する支援、「ホタルの孵化・幼虫の飼育・放流・水質調査等」の指導助言・講演などの取り組みを行い、三保小児童に命の大切さや環境問題への関心を高めている。 また、2002年度(平成14年度)造成した校内の「ホタル川(ビオトープ)」の管理、環境整備をして総合学習で取り組む6年生と協力しながら「ホタル川」や地域の川への幼虫放流を行っている。	中津市立 三保小学校長
3	中津市	読み聞かせグループ「バオバブの木」	読み聞かせ活動	平成21年3月から平成28年の今日まで、校区在住の井上良美さん、中島久美子さんが読み聞かせグループ「バオバブの木」を作り、山移小学校の児童対象に月1回読み聞かせをしている。児童の読書意欲や学校での落ち着いた朝のスタートづくりに貢献している。	中津市立 山移小学校長
4	中津市	読み聞かせ「胡桃」	読み聞かせ活動	平成17年の4月から11年もの長い間、中津市立鶴居小学校の子どもたち(主に1・2・3年生)に、毎週金曜日(午前8:20～8:30)、各クラスでいろいろな絵本や紙芝居の「読み聞かせ」をして、子どもたちに本の楽しさを伝えている。 夏休み・冬休みには、中津市の図書館でも、子どもたちに読み聞かせの活動をしている。今年度は13名のメンバーで活動中。	中津市立 鶴居小学校長
5	中津市	灰床 一美	交通安全指導	平成17年より11年間にわたり、中津市耶馬溪町下郷入口交差点で、毎朝、雨降りや雪の日、強風の中でも、下郷小学校児童の交通指導を続けている。また、安全指導にあわせて、子どもたちへの積極的な声かけ、あいさつ運動も行っており、地域の子どもの健全育成にとっても貢献している。下郷小学校の保護者はもとより、地域住民からの信頼も厚く、とても感謝されている。	中津市立 下郷小学校長
6	豊後高田市	財前 由紀子	授業改善による学力向上及び部活動指導	平成24年から豊後高田市の学力向上戦略支援教員として、中学校国語科の授業改善や学力向上施策に取り組み、生徒の学力向上に大いに貢献した。特に、「思考力・判断力・表現力」を高めるための協調学習(アクティブラーニングの手法)に取り組み、学習への意欲を喚起したり、ノート整理の仕方についても熱心な指導を展開した。授業公開も積極的にを行い、指導力向上に努めた。また、作文や感想文のコンクールで入賞を果たす生徒が育つなど成果が見られた。主要主任として学校を牽引しており、他の教職員、児童、地域住民から信頼を得ている。 女子卓球部の指導にも指導力を発揮し、市中体連では4年連続団体優勝を達成し、県総体への出場を果たしている。学級経営においても、定評があり、保護者、地域に信頼が厚く、コミュニティスクールを導入後、核となって責務を果たしている。	豊後高田市教育委員会 教育長
7	豊後高田市	真玉小学校 児童会	あいさつ運動及びボランティア活動	あいさつ運動は、全校児童であいさつを励行するとともに、地域の方々にも気持ちの良いあいさつをしている。 ボランティア活動として、全校で育てた花を地域に配る活動をしており、年2回地域の公共施設(公民館、スパランド、郵便局など)にプランタに植えた花を贈っている。加えて、福祉施設にも届けており、異年齢の交流も図っている。さらに、ボランティア清掃活動は真玉中学校と合同で、年1回地域の神社や公共施設の清掃を行っている。	豊後高田市教育委員会 教育長
8	豊後高田市	河内小学校 児童会	あいさつ運動及び人権意識を高める活動	児童会のテーマ「つながろう 楽しもう 笑顔いっぱい 河内っ子」を掲げ、安全安心な学校づくりを平成20年から継続して行っている。 ・毎週水曜日の朝の「あいさつ運動」(テーマ 河内っ子あいさつ「止まって、目を見て、大きな声で!」)。元気の朝のあいさつで地域住民の方から好評を得ている。 ・河内っ子言葉づかい「やさしく 正しく 呼び捨てなしで」河内っ子合い言葉「呼び捨てなしで人や物を大切にすの河内っ子」を率先して実践している。 ・月1回の「なかよしタイム」、毎週月曜日のなかよし集会での「ほめ言葉のシャワー」・・・お互いのよいところを言い合うことで人権意識を高め、いじめをなくす学校生活に繋がっている。	豊後高田市教育委員会 教育長
9	豊後高田市	田染小学校 児童会	福祉施設との交流活動及び伝統芸能継承活動	約20年以上にわたり、障がい者支援施設「コスモス」の園生と児童会による交流を行っており、心豊かな子ども育成を図っている。人権意識も高まり、友だちを大切にすることが育っている。 「田染音頭」は、長年の取組として引き継がれており、3年前から「田染地区伝統文化保存会」が発足し、「田染民謡」を復活させ、市のイベント等で発表しており、地域の活性化に繋がっている。	豊後高田市教育委員会 教育長
10	豊後高田市	高田中学校 生徒会	福祉施設訪問及び人権啓発活動	平成17年から福祉施設の訪問を行い、高田中農園で栽培した野菜を届けたり、敬老の日に合わせてメッセージカードを送ったりして交流している。また、平成24年から毎月1回の人権タイムを設けて、人権やクラスの課題について話し合い、学期に1回人権集会を行っている。そこで、クラスで話し合ったことや人権目標を発表し、人権について考えている。これらの活動は、全て教職員と生徒会が共に協力して創り上げている活動である。	豊後高田市教育委員会 教育長
11	豊後高田市	田染中学校 生徒一同	清掃活動及び伝統芸能継承活動	平成15年から年3回富貴寺等の文化財周辺の除草、落ち葉拾い、境内の拭き掃除を行い、文化財に対する理解や保護意識の向上に努めている。 平成18年より田染荘御田植祭、収穫祭及び八反ずり体験等の伝統行事に全校生徒で参加している。また、地域住民が「田染民謡」の復刻を契機に平成26年より地域保存会と連携し、田染民謡の踊りの練習や地域行事での披露を行っている。 平成23年より卒業・進級記念植樹を兼ねた田染相原地区「空気の森」で植樹活動を行い、環境教育の推進に努めている。	豊後高田市教育委員会 教育長
12	豊後高田市	蔵本 学	学習支援活動	豊後高田市の「学びの21世紀塾」において、土曜日寺子屋講座(中学生講座:国語、数学、英語)、夏季・冬季特別講座(高校入試受験対策講座:国語、数学、英語)、水曜日講座(数学、英語)の平成23年から市民講師として、生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導により、当市の学力向上、進学力向上に大きく貢献している。	豊後高田市教育委員会 教育長
13	宇佐市	駅川中学校 生徒会	花苗配布活動	生徒会を中心に、地域とのつながりを深めたいと、平成3年から地域のお年寄りに花苗を贈る活動を続けている。ボランティア部が種を植え、小さな苗に育つと全校生徒でポットに仮植えをする。部員たちは水や肥料を与えて育てる。 5月下旬、お年寄り400戸、1戸9本ずつの計3600本を全校生徒が手分けをして配布する。26年続いており、いつも「ありがとう」とお年寄りが温かく迎えてくれている。	宇佐市教育委員会 教育長
14	宇佐市	柳ヶ浦小学校6年生	平和ガイド活動	2005年から宇佐市平和ウォークに関わり、柳ヶ浦小学校や付近に残る戦跡を毎年6年生がグループに分かれ平和ガイドを行い、戦争の恐ろしさや平和の大切さを学び、年間を通して学んでいる。4年ほど前から、活動を拡大し、他の市町村の小学校や団体にも平和ガイドを行っている。	宇佐市教育委員会 教育長
15	宇佐市	八幡小学校6年生	平和ガイド活動	6年前から、宇佐市の戦跡を巡る「平和ウォーク」において、校区内に残る掩体壕の説明や平和への願いを伝えるため、「平和ウォーク子どもガイド」に取り組んでいる。この活動を通して、地域のことを知り、地域を愛し誇りに思う子どもにも育っている。 子どもたちの説明や想いを聞いた方との交流も深まり、ある年には福岡県在住の方と年間を通して文通を行うなどの交流も生まれ、子どもたちの豊かな心の育成にも効果のある取り組みになっている。	宇佐市教育委員会 教育長

## 平成28年度大分県教育奨励賞受賞者一覧

No.	市町村	氏名(団体名)	主な活動内容	活動詳細	推薦者
16	宇佐市	北部中学校 生徒会	ふるさとクリーン作戦	昨年度、北部中学校の生徒会が地域づくり協議会と共に海岸の清掃活動「ふるさとクリーン作戦」～天津の海や川をきれいにする運動～を始めた。今年度は近隣小学校や保育園を交えて総勢350名が参加した。 海岸には、発砲スチロール、プラスチック、ペットボトルなど多くのゴミが打ち上げられており、改めて、自分たちの生活が環境を壊していること、貴重なふるさとの自然を自分たちの手で守っていかなければならないこと等自覚を深めている。	宇佐市教育委員会 教育長
17	宇佐市	読み聞かせグループ 「ハッピータイム」	読み聞かせ活動	月2回の朝読書や昼休みの時間の読み聞かせ活動を行っている。参加メンバーが減少し活動が困難な状況の中でも、今年度で18年目の活動となっている。8月には平和集会で、「平和」をテーマとした絵本等を選書し、全校児童に対しても読み聞かせをするなど、学校の教育活動と連携をした取り組みも展開し、学校や児童になくはならない存在となっている。	宇佐市立 糸口小学校長
18	宇佐市	読み聞かせグループ 「絵本であそぼう」	読み聞かせ活動	月に2回、1年生の各教室で読み聞かせをしている。時間は8時15分から15分間。対象は中学生であるが、絵本から社会問題に関する読み物まで、中学生にぜひ読んでほしい書物を選書しており、生徒は真剣に聞き入っている。生徒の豊かな心を育む活動の一つとしても貢献をしている。平成20年から開始して今年で9年目となる。	宇佐市立 駅川中学校長
19	国東市	「学びの教室」学習サ ポーター	学習支援活動	平成23年度から、学校の基礎基本の定着と学力向上を目指した取り組みに賛同した元教員のメンバーで構成される学習サポーターである。水曜日の放課後の学習の支援を行っている。児童に対する指導や支援は的確で、一人ひとりにきめ細かい。学習支援中の言葉かけや励ましで児童は学習意欲が増し学力定着に結びついている。	国東市立 安岐中央小学校長
20	杵築市	北杵築小学校 児童	伝統芸能継承活動	若宮八幡社の奉納のために4月の「早乙女役」と9月の「楽打ち」に本校1年生から6年生が15名程度参加して、地域文化の継承・発展に貢献している。戦前・戦後を通して本校の地区の中津屋、大鴨川の児童が参加している。少子化の影響で厳しい状況ではあるが地域連携の意味からも小学校として組織的に参加している。	杵築市立北杵築 小学校長
21	杵築市	山香上神楽社	伝統芸能伝承活動	平成4年度に「上小子ども神楽」を創設以来、地域の指導者として子どもへの指導に取り組んでいる。 地域の伝統芸能である神楽を直接子どもたちに指導し、その継承のための人材育成が図れており、また、ふるさとを愛し誇れる子どもたちを育成することに貢献している。	杵築市立 上小学校長
22	杵築市	本田 知典	学習支援活動	「大田ふるさと作り協議会」の会長を長年勤め、25年4月から、大田小学校・大田子ども園を中心に大田地区の子どもたちの教育支援や子育てサポートを行っている。 ・1, 2, 3年生に対する「いも作り」の指導 ・5年生に対する「米作り」の指導 ・学校が授業で必要とする人材を紹介	杵築市立 大田小学校長
23	日出町 別府市	別府地域技能士会	体験学習支援	別府地域技能士会が平成12年度から17年間に渡り継続して、別府市及び日出町の小学校高学年を対象に、子どもたちが優れた技術に触れ、創作する喜びを味わうことが出来る「ものづくり体験教室」を開催している。日本の伝統文化のすばらしさを体感できるとともに、若者の技能離れの改善にも貢献している。 今年6月には、別府市立朝日小学校の6年生を対象に、「本立て」「フラワー装飾」「銅板工芸」など10種類の伝統工芸や文化についての技能の体験教室を開催した。	別府教育事務所長
24	別府市	吉良 重彦	教育相談	平成26年から特別支援教育コーディネーター兼教育相談主任として、学校内外の相談に応じてきた。ケースに関して丁寧な分析とわかりやすい言葉での対応が好評で、平成26年度は144ケース、平成27年度は136ケース、平成28年度は6月現在で24ケースを扱うなど別府市内の特別支援学級の担当教員からの信頼が厚い。また、専門性の高さから、講師としても、平成26年6回、平成27年度3回、平成28年度6月現在で1回の要請があり、特別支援教育の理解、普及にも貢献した。	大分県立 南石垣支援学校長
25	別府市	朝日校区青少年育成協 議会	体験学習支援及び清掃 活動	平成3年から、朝日校区の子ども会と協賛して、各種行事や体験活動を計画・運営している。 例: チャレンジランキング大会、地域の特色である「地獄蒸し」を親子で体験する活動、地域清掃活動、日本の伝統行事である注連縄作りや「どんど焼き」等の「あさひ土曜塾」 さらに、学校行事である「朝日っ子文化祭」での「ドミノ倒し」の指導を長年取り組んでいる。	別府市立 朝日小学校長
26	別府市	東山ブুকリーディング クラブ	読み聞かせ活動	保護者の有志による読み聞かせ活動。平成20年6月から現在まで続けており、年間9回、朝8:20～8:35まで読み聞かせを行っている。 幼稚園、小学校、中学校それぞれの発達段階にあった絵本や読み物を選択し、外国籍の保護者は自国の絵本を持参し、自国の言葉で読みかきさせることによって、物語の展開だけでなく、外国語や外国の文化に関心を持たせることができている。	別府市立 東山幼稚園・小中学校長
27	大分市	上杉 洋一	部活動指導	平成23年4月～ 滝尾中学校ハンドボール部顧問 優れた指導力により、毎年の九州大会出場をはじめ、全国大会に春夏合わせて5回出場し、平成24年3月には男子ハンドボール部を全国優勝に導いた。	大分市立 滝尾中学校長
28	大分市	滝尾中学校 生徒会	ボランティア活動	20年以上前から、夏休みと冬休みに校区内の福祉施設で清掃や交流会のボランティア活動を実施している。また、全校生徒に呼びかけペットボトルキャップや空き缶を集め、ワクチンのための寄付や地域の高齢者福祉施設に車いすを寄贈している。	大分市立 滝尾中学校長
29	大分市	ユワキヤ醤油株式会社	体験学習支援	小学生の生活科や総合的な学習において、体験学習をサポートしている。記録に残っているだけでも平成14年から平成27年まで13年間続いている。実際はもっと前から始まっている。 毎年冬に味噌作り体験をユワキヤ醤油屋において行う。そこでは味噌の原料である大豆・麦・麹等の説明や作り方を教え、味噌を実際に仕込むところまで児童が行う。作った味噌は夏までユワキヤ醤油屋さんと天然熟成し、完成した味噌は児童が持ち帰る。児童は自分で作った味噌で味噌汁を味わうことを楽しみにしている。	大分市立 竹中小学校長
30	大分市	横瀬西小学校 かぼす の会	体験学習支援	平成24年から、毎年秋にダンボールハウスキャンプを実施し、児童と保護者合わせて50名以上が参加している。土曜日の午後から体育館にたくさんのハウスが立ち並び、親子で一夜を過ごすことで、子どもたちに大人気の活動である。かぼすの会の会員は、ハウス作りの材料を集め、ハウスづくりの支援・食事の準備等も行っている。また、子どもたちに楽しんでもらうために、きもだめしやマジックショーなども企画している。 平成17年から、プールわきの畑にたくさんのサツマイモを植え、秋のふれあいPTA時に、てんぷらにして、全校児童に配るなどして喜ばれている。	大分市立 横瀬西小学校長
31	大分市	読み聞かせの会「マ ザーグース」	読み聞かせ活動	平成14年度から今年度で15年目の活動。 児童の発達段階、関心、季節・行事等にあった本を選び、毎月2回、朝の時間に読み聞かせを行っている。 平和集会・図書館祭りでの本の紹介絵本の朗読を行っている。 6年生対象の「読書会」で読みあった本について感想交流等を行っている。	大分市立 住吉小学校長

## 平成28年度大分県教育奨励賞受賞者一覧

No.	市町村	氏名(団体名)	主な活動内容	活動詳細	推薦者
32	大分市	ボランティア別保	体験学習指導	平成18年からの活動。 3年生のやせうま作り(総合学習)では、生地の作り方、ゆで方、伸ばし方などを指導し、楽しく会食している。 1年生の首の遊び(生活科)では、おはじき、けんだま、竹とんぼ、竹馬など昔ながらの遊びを指導している。	大分市立別保小学校長
33	臼杵市	新要流棒術愛護少年団	伝統芸能継承活動	地域に伝わる伝統の棒術を継承し、練習・披露の活動を通して、文化財愛護、郷土愛の精神を養っている。年間を通じて、学校行事や中臼杵地区南津留地区を中心にして地域等の行事で披露している。平成11年から17年目。	臼杵市立臼杵南小学校長
34	臼杵市	川登綱引き隊	クラブ活動指導	活動を中止していた綱引きクラブ「川登スターダスト」を平成24年に復活させ、主に10月から2月の夜間に5か月間、子どもたちに綱引きのルールやフォームを指導し、大会に参加している。 チーム編成ぎりぎりであるハンデを克服し、大分県綱引き選手権優勝(H25、H26)、JR綱引き大会2連覇(H25、H26)を果たすなどの好成績を納めた。	臼杵市立川登小学校長
35	津久見市	堅徳小学校 児童会	防災学習活動	堅徳小学校児童が、全校縦割り班で地域の避難場所をオリエンテーリング形式で巡る防災学習活動。児童会が企画運営し、平成27年度から実施している。 負傷者を運ぶ毛布担架や防災クイズにグループで協力しながらチャレンジすることで、楽しく防災知識を学び、防災意識を深めている。1年生から6年生までの縦割り班編成は、自動意識の向上にも役立っている。また、地域の方々、オリエンテーリング中の安全見守りや避難場所の説明など全面的に協力してくれている。	津久見市立堅徳小学校長
36	津久見市	公益財団法人戸高育英会	「戸高文庫」寄付	平成17年以前から10年以上、毎年学校に本を寄付してくれている。課題図書や教科書に出てくる本を頂き、「戸高文庫」コーナーをつくっている。新刊や授業で出てきた本は子どもたちにも人気で、調べ学習や読書意欲喚起に大いに貢献してくれている。	津久見市立堅徳小学校長
37	由布市	読み聞かせボランティア「秋桜の会」	読み聞かせ活動	10年にわたって、毎月40回の読み聞かせ活動を実施している。全校児童や園児が楽しめるよう、大型絵本やパネルシアターを使い、物語の世界観を子ども達が味わえるよう工夫している。 【主な活動内容】 ・毎月、庄内町内の各保育園・幼稚園・小学校で1～2回の読み聞かせ活動 ・毎月第3日曜日に図書館分館でおはなし会 ・春、秋の読書まつり(庄内公民館でパネルシアターを用いて実施)	由布市教育委員会
38	佐伯市	本多 宏	体験学習指導	平成14年から15年目(本人は途中4年間異動で離れているが活動は継続)。 中学部の総合的な学習の時間の取組として、地元産業の理解、ふるさとへの愛着をもち、かけがえない自然を守っていくこととする意欲と態度を育てる授業の中心的リーダー。地域サポーターと協働して、生徒の植樹、魚釣りなど、佐伯の海と山を守る活動を長年実践している。 【例】イチゴ狩り、新茶摘み、製茶、屋外での宿泊体験、栽培した小麦を使った「団子汁、ごまだしうどん作り」、文化祭の学校行事での劇化発表、漁業体験、どんぐりから育てたクヌギの植樹、森の保全作業、クヌギを使った椎茸栽培	大分県立佐伯支援学校長
39	佐伯市	宇目緑豊中学校 生徒一同	伝統芸能継承活動	平成15年4月に開校して以来、「総合的な学習の時間」を活用して、伝統芸能である「宇目の唄げんか」「宇目神楽」の保存継承に取り組んでいる。また落語にも取り組んでいる。	佐伯市教育委員会
40	佐伯市	西浦小学校6年生	商品開発による地域振興	総合的な学習の時間の授業において西野浦・蒲江の素材を使った商品開発をめざし、子どものアイデアを出し合いながら、調査・研究を重ねるとともに、地域・保護者を巻き込んだ授業づくりをすすめた。最終ゴールである「子ども屋台選手権」では、平成26年度、平成27年度ともに準グランプリを獲得し、道の駅かまえにおいて「プリまん」「ハハちゃん海鮮ボール」として商品化することが出来た。地域・保護者との絆と子どもたちの故郷への思いを強くした学習である。	佐伯市立西浦小学校長
41	佐伯市	田北 文恵	学習支援活動	平成25年度より、宇目緑豊中学校区ネットワーク会議地域コーディネーターとして学校の教育活動支援に貢献している。 生徒が地域の伝統芸能を継承する場を提供したり、職場体験学習での事業所の開拓や平和学習、福祉体験プログラムの講師依頼など本校の希望に沿った活動になるよう準備をし実施している。これらの活動は、生徒にとって、将来の生き方を考えさせるだけでなく、「ふるさと宇目」を大切に思う心を育み、地域のすばらしさを実感できる貴重な体験となっている。	佐伯市立宇目緑豊中学校長
42	佐伯市	志賀 智昭	交通安全指導	平成16年から現在まで、早朝交通指導を12年間毎日行い、児童生徒の登校を見守り安全確保に努めている。交通量の多い交差点に立ち、指導することで、児童生徒が安全にそして安心して登校でき、保護者も感謝している。さらに、児童生徒に対しても挨拶や声かけをし、その様子を学校に知らせてくれることで指導に活かすことができている。	佐伯市立佐伯東小学校長
43	佐伯市	なおかわ安全・安心まちづくりパトロール隊	交通安全指導及び見守り活動	11年間にわたり、子どもたちから犯罪や事故から守るために、通学路のパトロールや地区の各種行事における会場とその周辺のパトロールを行うとともに、毎月1日、15日を原則に子どもたちの登下校時における通学路での見守り、交通安全指導を行っている。	佐伯市立直川中学校長
44	佐伯市	海ほたるの会	安心・安全パトロール活動	平成19年より、約10年間にわたって地域の子どものために安心・安全パトロールを実施している。活動としては通学時の交通指導及び挨拶の励行を危険箇所を立てて指導いただいている。また、盆などの地域の祭り等、行事の際には夜間パトロールを実施し、子どもの安全や指導に献身的に活動している。定例会を年間2回開催し、松浦小・鶴見中学校の校長他関係者と情報交換をし、目的を共有し協働した具体的な効果的な取り組みが実践されている。	佐伯市立鶴見中学校長
45	佐伯市	尾崎 紀美子	子育て支援及び地域人材活用支援活動	子育て支援活動(幼児教育) 昭和62年から幼児クラブ「風の子」を28年間続けている。また、幼稚園教育の一環として社会教育と連携し、幼稚園の保護者を対象に平成25年から家庭教育講座をひらいている。  地域人材活用声援活動 弥生校区のコーディネーターとして、平成20年から地域人材の活用による授業及び学校行事の際に学校側が必要としている適切な人材確保に尽力している。	佐伯市立切畑小学校長
46	佐伯市	廣田 千代子	交通安全指導及びあいさつ運動	平成17年から現在まで、毎朝、通学路として危険箇所の一つである国道10号線の直川小学校・中学校下交差点に立ち、園児・児童・生徒の登校時の交通安全指導を行っている。また、交通安全の指導の際、子ども一人一人に対してあいさつ運動にも取り組んでいる。	佐伯市立直川小学校長
47	佐伯市	久寿米木 重生	学習支援活動	鶴谷校区地域協育コーディネーターとして学習支援や学校安全・安心のための支援、学校行事における地域人材の紹介(人材を発掘して名簿を作成)等中学校への様々なボランティア活動に取り組んでくれた。 更に、地域の方々に中学校を正しく理解してもらうため、鶴谷ネットワーク便りという広報紙を毎月1回発行し、校区内の各地区(班)へ回覧するなど幅広く広報活動に取り組んでくれた。また本年度は、鶴谷中学校協働運営協議会委員として本校佐伯型コミュニティ・スクール推進の原動力となって活動している。	佐伯市立鶴谷中学校長

## 平成28年度大分県教育奨励賞受賞者一覧

No.	市町村	氏名(団体名)	主な活動内容	活動詳細	推薦者
48	竹田市	竹田小学校 児童一同	蛭おくりの交流活動	1953年(昭和28年)に当時の学園長が入所者に蛭を見せたいと当時の明治小学校に蛭取りを頼んだのを機に、竹田市立明治小学校と大分市の児童福祉施設「清明あけぼの学園」の蛭送り交流が始まり、今年で64回を迎える。明治小学校が竹田小学校と統合となり、その後も引き継がれてきた。竹田小学校では子ども達があけぼの学園のお友達に蛭を送って鑑賞してもらおうと、水田や川で蛭を捕まえて、6年生や保護者が毎年6月頃、あけぼの学園を訪れ贈呈し、交流を行っている。受け取ったあけぼの学園は蛭を楽しんだ後、産んだ卵をふ化させて幼虫を育て竹田の川に里帰りをさせている。	竹田市教育委員会
49	竹田市	竹田地域技能士会	体験学習支援	平成13年度以降、竹田地域技能士会所属の各技能士が、小学校高学年を対象に「ものづくり体験教室」を開催。「本立て」「ネームプレート」「円形工芸」「銅板工芸」等々を児童と一緒に作成することにより、技能士による優れた技能に触れ、創作する喜びを味わうことができる体験活動に取り組んでいる。「ものづくり体験教室」は、平成28年度は「竹田市立宮城台小学校」、平成27年度は「竹田市立豊岡小学校」、平成26年度は「竹田市立南部小学校」等、竹田市内の小学校で毎年1校程度実施している。	竹田教育事務所長
50	豊後大野市	三重総合高等学校ボランティア同好会・生物環境科	ボランティア活動	7年ほど前から本校生物環境科が育てたフラワーポット60個を、ボランティア部が三重町駅、三重郵便局、豊後大野警察署の3カ所に置き続けてきた。その際、花の名前や育て方などについても説明し、大切に育てていただいている。また、毎年8月に「愛は地球を救う24時間テレビ」に参加し募金活動を行い、毎年9月には、「ほのぼのおおのラブLIVE」にスタッフとして参加し、障がい者の支援や障がい者との交流を行っている。	大分県立 三重総合高等学校長
51	豊後大野市	朝地の絆の会	学習支援活動	連携型小・中一貫教育モデル校を進める朝地小・中学校の学習支援に取り組み、9年間を見通した学びを支援しているボランティア団体である。「学び隊」、「つなげ隊」、「育て隊」、「守り隊」の4つの応援隊からなり、幅広く学校教育活動を支援している。 平成25年以前は、個人個人でボランティアの学習支援を続けていたが、平成25年から会員募集を始め組織化した。平成26年度から本格実施された連携型小・中一貫教育において、同校が推進する市独自の小中一体型のコミュニティスクールの中核をなす組織であり、平成27年度は、延べ1000名を超える会員が学校や児童生徒の支援にあたった。活動を円滑に進めるため、年7回の連絡会議や4つの隊ごとの連絡会議を実施している。	豊後大野市教育委員会
52	日田市	威宜小学校 児童	日本遺産学習に基づく交流活動	江戸時代後期の儒学者・広瀬淡窓が開いた私塾威宜園(日本遺産)について、全学年で学習を行っている。学習したことを生かして、児童会は山鹿市の6年生と「立志の道を歩こう」において交流を深めている。また、5、6年生の中には「子どもガイド」に参加する児童もいて観光客に説明をしている。 また、あいさつ運動「あいさつ名人」の活動を通して、町で出会った地域の方や観光客に進んであいさつを行っている。「いつでも、どこでも、だれにでも」あいさつをする姿が日常的になっている。	日田市教育委員会
53	日田市	塚田地区 営農組合	体験学習支援	10年間にわたり、旧塚田小学校と統合後のいつま小学校において、子どもたちに「食」の大切さを伝えようと、アイガモを活用して自然を大切にした稲作技術で、その伝統や価値を教え続けている。11月に同校で開催される「ふれあい祭り」では、収穫した米やカモ肉を使った料理を囲み、子どもたちや地域、保護者の方々、営農組合の方々交流を深めている。 地域で、毎年ホタル祭りを開催して、地域や自然保存の大切さを伝えている。	日田市立 いつま小学校長
54	玖珠町	玖珠中学校 生徒会	福祉施設との交流活動	平成25年度から、玖珠中学校生徒会は、生徒会活動として定期的に老人福祉施設を訪問し、入居されている方たちと交流を行っている。この交流は、入居されている方だけでなく、施設で働く職員の方からも感謝されている。	玖珠町立 玖珠中学校長
55	玖珠町	岩尾 純子	学習支援活動	地域人材の活用授業および学校行事の際に、学校が必要とする人材を探したり、活動内容の打ち合わせ等を行っている。 地域人材を活用した授業に参加するだけでなく、写真撮影等を行い、自治会ニュースで紹介するなどの広報活動も行っている。 平成24年から4年目。	玖珠町立 玖珠中学校長
56	玖珠町	昭和会	環境整備活動	昭和会は平成元年に発足し、以来28年間にわたり、森中央小学校の環境整備作業に積極的に携わってきた。年3回、PTA保護者とともに、校舎、校庭周りの樹木の剪定、草取りなどに取り組んでいる。学校やPTAの作業だけでは管理しきれない大きな樹木の剪定などのために、重機等を準備し作業してくれている。	玖珠町立 森中央小学校長
57	玖珠町	幸野 侃	体験学習支援	平成25年度より、田植え体験学習において米作りの指導を中心になって行い、野菜作りの指導も行っている。 また、平成25年度、平成27年度には、平和学習の講師としても貢献している。	玖珠町立 日出生小学校長
58	玖珠町	松野 孝治	クラブ活動指導	平成4年度から24年度まで21年間、「小田ファイターズ少年野球団」の監督を務め、児童の健全育成と体力向上活動に尽力してきた。しかし、少年野球チーム「小田ファイターズ」が児童数の減少により解散したことにより、平成25年より「小田ジュニア陸上クラブ」を結成し、校区内の児童の健全育成と体力向上を継承する活動を行い、スポーツ活動に慣れ親しむ文化を創造することに貢献している。 また、小田地区青少年健全育成協議会会長を平成23年から27年まで5期(5年間)努めた。	玖珠町立 小田小学校長